大阪大学 サイバーメディアセンター

大規模計算機システム 世界と伍する学生育成特設枠 公募型利用制度申請書

年　　　月　　　日

※本様式は、本センター 大規模計算機システム担当system@cmc.osaka-u.ac.jpまでお送りください。

|  |  |
| --- | --- |
| **代表者所属** |  |
| **代表者氏名** |  | **代表者学年** |  |
| **年齢/性別** | 年齢　　歳（2024年4月1日時点）　／　男・女 |
| **電話連絡先** |  |
| **E-mailアドレス** |  |
| **住所** | 〒 |
| **指導教員** | 氏名：　　　　　　　　　E-mailアドレス： |

|  |  |
| --- | --- |
| **研究課題名****(日本語)** |  |
| **研究課題名****(英語)** |  |
| **申請する公募枠** | 世界と伍する学生育成特設枠 |

|  |
| --- |
| 1. **計算計画の概要**
 |
| **SQUIDの資源量** |
| **汎用CPUノード** | ノード時間 |
| **GPUノード** | ノード時間 |
| **ベクトルノード** | ノード時間 |
| **ストレージ容量** | TB |
| **計算内容**（例　○○○○○○：□□□□法による△△△計算を行うためXXXノード時間の計算をYYY回実行する。） |
| （３．計算計画に記載した内容をスペースが許す範囲で要約して記入してください。） |

|  |
| --- |
| **２．研究課題の概要**学位(修士、博士)取得を目標として行う研究課題の学術的背景、目的・意義、研究計画、期待される成果を、それぞれの位置付けが分かるように記述してください。特に、研究課題の重要性・妥当性（なぜ本研究課題に取り組む必要があるのか）、および、特色・独創性（他の研究に比べてどのような違いがあるか）について詳細に記述してください。図表を用いても構いません。なお、**専門分野以外の方が審査を行う場合があるので分かりやすく記述してください。**なお、スペースが不足する場合は記述欄を拡張して構いません。 |
|  |

|  |
| --- |
| **３．計算計画**上記の研究課題の遂行にあわせた計算計画（利用を想定するノード群、計算時間、必要なディスク容量など）について記述してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| **４．利用者リスト**　※実際に大規模計算機システムを利用する者について記入すること。学生の身分を有する者しか登録できません。 |
| １ | (フリガナ) |  | 学　　年 |  | 研究分野 |  |
| 氏　　　名 |  | 所　　属 |  |
| 満年齢 |  | メールアドレス |  |
| ２ | (フリガナ) |  | 学　　年 |  | 研究分野 |  |
| 氏　　　名 |  | 所　　属 |  |
| 満年齢 |  | メールアドレス |  |
| ３ | (フリガナ) |  | 学　　年 |  | 研究分野 |  |
| 氏　　　名 |  | 所　　属 |  |
| 満年齢 |  | メールアドレス |  |
| ４ | (フリガナ) |  | 学　　年 |  | 研究分野 |  |
| 氏　　　名 |  | 所　　属 |  |
| 満年齢 |  | メールアドレス |  |
| ５ | (フリガナ) |  | 学　　年 |  | 研究分野 |  |
| 氏　　　名 |  | 所　　属 |  |
| 満年齢 |  | メールアドレス |  |

|  |
| --- |
| **５．外国人リスト**　　※前述の「４．利用者リスト」において外国籍の利用者が含まれる場合にのみ、以下の項目を記述してください。 |
| **外国人の利用申込にあたっては，輸出貿易関連法規に違反しないことを確認しました。（ はい ・ いいえ ）** |
| １ | 氏　　　名 |  | 居住年月数 |  | 国　　　籍 |  |
| 現居住地 |  |
| ２ | 氏　　　名 |  | 居住年月数 |  | 国　　　籍 |  |
| 現居住地 |  |
| ３ | 氏　　　名 |  | 居住年月数 |  | 国　　　籍 |  |
| 現居住地 |  |
| ４ | 氏　　　名 |  | 居住年月数 |  | 国　　　籍 |  |
| 現居住地 |  |
| ５ | 氏　　　名 |  | 居住年月数 |  | 国　　　籍 |  |
| 現居住地 |  |

|  |
| --- |
| **６．研究体制**研究体制が研究目的遂行の観点から妥当であるかどうかについて、前述の「４．利用者リスト」に記載の利用者の役割、必要性を明確にしつつ、スペースが許す範囲で図表を用いて分かりやすく記述してください。必要に応じて、アドバイザーや指導教員など、「４．利用者リスト」に記載されていない（大規模計算機システムを利用しない）課題参加者についても記述して構いません。 |
|  |